保存版

教職課程ハンドブック

2023

（2022年度入学生用）

京都女子大学

≪京都女子大学で取得可能な教員免許状の一覧≫

国からの課程認定により、所属する学科・専攻で取得できる免許状は、下表に示すとおりです。
免許状取得のために必要な科目及び単位数は、**『単位修得要領』**を確認してください。

学 部	学 科 ・ 専 攻	種 類	教 科
文学部	国文学科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	国語
	英文学科	中学校教諭一種免許状	外国語（英語）
		高等学校教諭一種免許状	外国語（英語）
	史学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
発達教育学部	教育学科 教育学専攻	幼稚園教諭一種免許状	
		小学校教諭一種免許状	
		特別支援学校教諭一種免許状	
	教育学科 養護・福祉教育学専攻	中学校教諭一種免許状	保健
		高等学校教諭一種免許状	保健
		養護教諭一種免許状	
	教育学科 音楽教育学専攻	中学校教諭一種免許状	音楽
		高等学校教諭一種免許状	音楽
	児童学科	幼稚園教諭一種免許状	
家政学部	食物栄養学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
		栄養教諭一種免許状	
	生活造形学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
現代社会学部	現代社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
		高等学校教諭一種免許状	情報
法学部	法学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民

このハンドブックは、2022 年度入学生用に、教職課程（教員免許状を取得するための課程）の概要や履修方法のほか、各種手続方法等をまとめたものです。卒業するまで、大切に取り扱ってください。
ただし、その内容は主に 2022 年度の実績をもとに説明したもので、途中で制度や方法、金額等は変更される場合があります。最新の情報や変更事項は、オリエンテーション等で説明しますので確認してください。

☆教職課程に関する教務課からの連絡について☆

教務課からの連絡は、すべて「京女ポータル」にて行います。京女ポータルのお知らせ等を見ないことによる不都合、不利益は学生自身の責任となりますので、見落とし等には十分に注意をしてください。
なお、このハンドブックは、教職課程関連のオリエンテーション等において、使用する場合があります。（「京女ポータル」でお知らせします。）

はじめに

教職課程を履修するみなさんへ

今日の社会は高度な情報化と急速な国際化が進んでいます。こうした進歩により、私たちの生活は豊かになるとともに、新たな教育課題に直面するようになりました。そのため、社会の変化にともなって、学校教育は大きな変革期を迎えています。2017 年の学習指導要領改訂において、道徳の教科化や高学年への教科「外国語」の導入および各教科の特性に応じたプログラミング教育の実施が打ち出されました。また、GIGA スクール構想のもと、子どもたちが一人一台のタブレット端末を持つようになり、教育における ICT の活用がますます進んでいます。さらに、「指導の個別化」と「学習の個性化」、「個別最適な学び」と「協働的な学び」のように、異なる学びを掛け合わせた新しい学びを生み出す試みも始まっています。したがって、これからの教員には変化への柔軟な対応力が求められています。

一方で、外国語、算数、理科を対象とした専科制の導入が始まり、教員には高い専門性が求められています。2017 年の学習指導要領改訂において、各教科に固有の見方・考え方が重視されるようになりましたが、これは身に付けた知識や技能を活用して問題解決していく際に必要となる本質的なアイデアです。このような見方・考え方を働かせて思考・判断・表現する資質・能力を子どもたちに育むためには、各教科の学問的背景としての学習内容のつながりを、教員が理解しておくことは不可欠です。また、全ての新規採用教員が、10 年目までに 2 年以上、特別支援学校等での指導を経験するという提言もなされており、様々な障害の特性に対するある程度の専門的な素養も、これからの教員には求められています。

以上のように、昔と今では、求められる教員の姿は変化していると言えます。しかし、子どもたちの資質・能力を最大限に伸ばすという教育の目的は変わっていません。子どもたちに求められる資質・能力や指導の方法は、時代によって、これからも変わっていくでしょう。だからこそ、教員は日々研鑽に励み、自らの専門性を高めるとともに新しいことにチャレンジし続けることが大切です。世の中で「先生」と呼ばれる職業は限られています。そのどれも、周りから慕われ尊敬される存在であるものばかりです。

これだけ聞くと、教員の仕事は、責任が重く大変だと思うかもしれませんが、子どもたちの成長を日々感じられるとともに、子どもたちの将来や人生に関わり影響を与えることのできる、とてもやりがいのある仕事でもあります。教員を目指し、教職課程を履修しようと考えているみなさんは、子どもの喜びが自分の喜びとなり、子どもの笑顔とともにいる自分を想像してみてください。そんな姿に近づくために、これから 4 年間、しっかりと専門性の基礎を培うとともに、新しい教育の動向にも目を向け、学び続ける教員としての資質・能力を身に付けていきましょう。教職支援センターは、みなさんの夢の実現のために全力で支援していきます。

（教職支援センター長　坂井武司）

もくじ

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅰ．教育免許取得に向けて

1．育成する教職志望の学生像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
2．教員養成の思い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3．教職という仕事～おもしろさ・やりがい～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Ⅱ．教職を目指すために

1．教職支援センターの役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2．教職支援センターについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
3．４年間の学びのイメージ
・１年次　教職への理解期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
日本語教師課程について
リフレクションシートについて
・２年次　教職への土台づくり期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
教員採用試験情報収集の仕方
学生ボランティア紹介
３回生にむけて　教員養成講座・東京アカデミー連携事業
２回生～３回生　教職応援セミナー
・３年次　教職への準備万全期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
自治体別教員採用選考試験説明会
教採合格者からのメッセージ動画配信について
東京アカデミーの講座活用　ピアノ実技特化
４回生にむけて　学校推薦応募について
京都教育大学院連合教職実践研究科特別推薦について
・４年次　教職への決断期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
教採対策個別指導
京女教育シンポジウム　先輩からのメッセージ

Ⅲ．教育実習・介護等体験

1．教育実習について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
⑴　教育実習を行うにあたって

⑵　教育実習履修の条件および中止について
⑶　実習の心得
⑷　教育実習のためのチェックリスト
⑸　実習校への連絡（電話のかけ方）について
⑹　お礼状について
⑺　実習訪問時の服装について
⑻　Topic ～実習で知り得た情報の取り扱い～
2．介護等体験について　・・・

MEMO

介護等体験オリエンテーション日程　（小学校または中学校の免許状取得の場合）

第一回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第二回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第三回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

教育実習オリエンテーション日程　（附属小学校実習・指定幼稚園実習）

第一回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第二回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第三回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

教育実習オリエンテーション日程　（教育学科教育学専攻　3回生実習）

第一回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第二回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第三回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

教育実習オリエンテーション日程　（4 回生実習）

第一回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第二回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

第三回：　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

教育職員免許状申請手続説明会日程

　　月　　日　（　　）　　時　　分～　　教室

Ⅰ．教員免許取得に向けて

１．育成する教職志望の学生像

２．教員養成の思い

３．教職という仕事～おもしろさ・やりがい～

1．育成する教職志望の学生像

京都女子大学では、教職課程履修において、「心豊かでたくましく生きていく子どもを育成するための資質・能力を身につけた教員」の養成を目指しています。

未来に向かって生きていく幼児・児童・生徒は希望とパワーに満ち溢れ、多くの可能性をもっています。教師は子ども達の将来に大きな影響を与えうる存在ですから、専門的知識を修得すると共に、子どもの可能性を最大限に引き出す力が求められます。そのため皆さんには大学での 4 年間の教職課程の学びを通して、教師という仕事が有している意義や身につけたい資質・能力を深く理解して欲しいと考えています。

教師に求められる資質・能力とは、1 年次からの専門的知識を学ぶことから始まりますが、知識の修得だけに留まるものではありません。加えて皆さんには、是非とも身につけて欲しい資質があります。

まず専門的知識の意味するところを具体的に考え、自分のものとして深く理解する力です。せっかく学んだ知識を、理解せず暗記するだけでは意味がありません。知識を自らの経験に置き換え、具体的に何を感じ、何を学んだのか、自らの心に深く刻み込むことが大切です。そのためにも在学中に経験の幅を広げ、一つひとつの経験を丁寧に振り返り、自分のものにすることが望まれます。

またその際に、既存のものの見方に捉われず、疑問をもち、物事をあらゆる角度から広い視野をもって考える力が必要です。ルールに従順に従うことが全てではなく、批判的思考力を身につけることが望まれます。言葉で言うのは簡単ですが、この過程で皆さんは既存の見方ではない、自らの思いやアイデアを考え、悩み、試行錯誤を繰り返すでしょう。この過程こそが、自らの保育・教育観に繋がり、教師になってからの基礎となり、学び続ける教師像に繋がっていくことでしょう。

さらに、自らの思いを実現する力、前を向いて確実に進んでいく力を蓄えて欲しいです。教師という仕事はやりがいのある魅力的な仕事ですが、同時に大変なことも多い仕事です。挫けない強い精神力、そして豊かな人間力が求められます。

4 年間の教職課程での学びでは、一人ひとりの学びの姿勢が大切です。一歩一歩深く踏みしめて歩んでいけるよう、着実な学びに繋げて欲しいと思います。そして教師になりたいという自らの思いを教職課程での学びを通して確かなものとし、教師に求められる資質・能力を備えると共に、周りの人から信頼され、愛される、人としての大切な基盤を身につけて欲しいと考えています。

皆さんがこの教職課程ハンドブックを熟読し、活用することで、学びのヒントを得られることを望んでいます。

2．教員養成の思い

教職に就きたいと考えている学生の皆さんに対して、様々な支援の中核となるのが「教職支援センター」です。教職支援センターには、豊富な経験を有する特定教授や教職カウンセラーが在籍し、様々な支援を行っています。そしてなにより皆さん一人ひとりが、それぞれの目指す教師像を確かなものにできるよう、そして就職してからも、目指す教師像であり続けられる教師を育みたいという思いで、皆さん一人ひとりに向き合っています。

教職は、一生の仕事として取り組むにふさわしい魅力に溢れた仕事です。京都女子大学卒業の多くの先輩が、教師として活躍されています。これからの皆さんの人生が、自らの希望や目標に向けて取り組み続けられる日々となるよう願っています。

3．教職という仕事　～おもしろさ・やりがい～

中学校・高等学校

椋本久雄（中学校社会科教諭を経て、教頭・校長、京都市教育委員会勤務）

皆さんは、教職という仕事に関心をもったのはいつの頃からですか。また、どのようなことがきっかけで教師の道を目指すようになりましたか。ある人にとっては、小学校や中学校、高等学校の学級担任の先生の何気ない心温まる一言が自身の進路を決定づけたり、また、ある人は、部活動の顧問の先生が厳しい指導の中にも一人一人の個性を理解し、技術面だけではなく、一人の人間としての成長を導いてくれたことに、自分も教師になって部活動で生徒と関わりたい、などなど動機はいろいろあると思います。そして、就きたい教職の校種や教科についても皆さんそれぞれ理由があると思います。

中学校・高等学校の先生は、授業以外にも多くの仕事をしなければなりませんが、先生方の多くはやりがいをもって自分の仕事を行っています。まず、大きなやりがいの一つとして、「生徒の成長」を感じることがあげられます。学習の遅れがちな生徒に向き合い、粘り強く指導した結果、分からなかった問題が解けたときのその生徒の目を輝かせた表情に接したときや、受験に際し志望校に合格して、自分のところまで報告に来てくれたときなど、その喜びはかけがえのないものとなります。また、生徒と一緒にイベントを作り上げていく楽しさもあります。特に体育祭や文化祭、合唱コンクールといった行事では、いろいろなトラブルが生じてしまうことがあります。そのようなとき担任の叱咤激励や温かく見守ることで、クラスが一丸となって取り組み、それを乗り越え生徒たちは満足感や達成感を味わいます。そのような中で生徒たちとの信頼関係も深められ、生徒から感謝されるというのも、教師の醍醐味の一つとなります。そして、『卒業式』。様々な思い出を残し、巣立っていく卒業生の心も身体も立派に成長した姿を見るとき、教師をしていて良かったなあと感じられる瞬間が、何物にも代えがたいやりがいであり、教師の仕事のすばらしさではないでしょうか。

小学校

天野聖子（小学校教諭を経て、教頭・校長、京都市教育委員会勤務）

教師をやっていてよかったと思える瞬間は、子ども達からパワーをもらっていると実感できるときです。特に、小学校は 1 年生から 6 年生までの 6 年間という長い期間に、子ども達の成長にじっくりと寄り添うことができ、「こんなにも　成長してくれた。」と幸せを実感できる場面がたくさんあります。小学校という時期は、学校という集団の中で様々な学びを獲得する時期です。低学年（1・2 学年）の時期は、一生懸命に担任の先生の一言一言に忠実に答えようとします。「早く勉強しよう。」と勉強することをとても楽しみにしています。給食当番や掃除当番、日直の仕事も喜々として　飛び跳ねながら「新しいことに挑戦できる喜び」を前面に出して一生懸命頑張ります。その一生懸命さが、教師の心を動かします。中学年（3・4 学年）は、仲間を意識する時期です。学級の友達と切磋琢磨しながら関係性を深めようとします。社会性が育つこの時期は、「友達とは自分にとって何なのか？」「先生だって間違うんだ。」など疑問や気づきを感じます。その疑問や気づきなどに、教師

として対応する難しさを感じるとともに、一緒に考える楽しさを味わうことができます。高学年（5・6 学年）の時期は、「大人への自立」に向かって葛藤する時期でもあります。自分を大人として見てほしいという願望が膨らみます。自分を取り巻く社会や世界の情勢などにも敏感になります。その中で「自分には何ができるか？」「自分は、今のままでいいのか？」などと自問自答しながら自分なりの答えを見つけようとします。葛藤したり、迷ったりしながら大人への階段を上る子ども達の姿は、とてもまぶしく感じます。そして、一人一人のその成長を陰ながら支えることのできる教師である自分が誇らしく思えてきます。

このように、6 年間の子ども達との歩みの中で彼らの弛みない成長の道筋に教師として少しの光をともせる存在でありたいと心の底から教師としての使命を実感します。その実感が次にすべきことは何なのかを考える原動力になります。

幼稚園・保育所・認定こども園

落合幸子（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）

皆さんは小学校に入学するまでは、幼児期をどこで過ごしてきましたか。「幼稚園」「保育所」、そしてこれからの子どもたちからは「認定こども園」という答えも増えてくることでしょう。

卒園した子どもと何年ぶりかで出会うことがあります。すっかり成長した子どもたちに「先生、身長低くなった？」と言われることがあります。「あなたが大きくなったのよ。」と笑いながら応える時に、とても幸せな気持ちになります。また、かつて幼児期を共に過ごした子どもがお父さんやお母さんになって、再び我が子の入園の場で再会するなどの時にはさらに大きな喜びを感じます。

生まれてから 6 年間の間に、子どもたちはいろいろな人との関わりの中で、心身共に大きく成長します。多くの子どもにとって、保育者はお父さんやお母さん・身近な人以外で最初に接する大人であり園は初めての集団の場です。入園当初は泣いていた子どもが、園庭の小動物や好きな玩具に触れて遊び始め、友だちにも関心をもち笑顔が出てくれば、保護者も保育者も嬉しいものです。3 歳未満児が、生活習慣が身についてきて「できた！」と得意そうな顔で振り向いてくる姿、子どもらしい感性で詩人のような言葉を発したり、一人遊びや並行遊びの時期を経て、友だちと戯れたり一緒に共感しながら遊んでいる姿を見ればさらに成長を感じます。3 歳以上児にもなると、大人では考えつかないような発想で玩具や遊びを作り上げ、どんどんイメージを膨らませて夢中で遊んでいる様子に感心したり、困っている友だちがいる時にそばにそっと寄り添っている姿等見れば心打たれます。

そのような子どもたちの成長の姿を日常的に見ることができ、幼児の世界の魅力とこれからの時代を生き抜いていく子どもたちの可能性を日々感じることができます。私たち大人も子どもたちの今を大切に、これからの未来のために何ができるか、自分がその傍らにいて、一人一人の成長や必要を感じ取り見守ったり援助したり、一緒に歩みながら子どもと共に成長し、子どもたちからパワーをもらうことができる、それが幼児教育現場で働く最大の魅力だと思います。

Ⅱ．教職を目指すために

１．教職支援センターの役割

２．教職支援センターについて

３．４年間の学びのイメージ

・１年次　日本語教師課程について
　　リフレクションシートについて
・２年次　教員採用選考試験情報収集の仕方
　　学生ボランティア紹介
　　３回生にむけて・教員養成講座
　　東京アカデミー連携事業
　　２回生～３回生　教職応援セミナー
・３年次　自治体別教員採用選考試験説明会
　　教採合格者からのメッセージ動画配信について
　　東京アカデミーの講座活用
　　ピアノ実技特化
　　４回生にむけて・学校推薦応募について
　　京都教育大学大学院
　　連合教職実践研究科特別推薦について
・４年次　教採対策個別指導
　　京女教育シンポジウム
　　先輩からのメッセージ

1．教職支援センターの役割

教職支援センターは、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員（栄養教諭・養護教諭・保育士を含む）を志望する学生が教員採用選考試験に合格できるよう、また教員として必要な力をつけて教壇に立てるよう支援するためのセンターです。

教職支援センター支援事業として、様々な教員採用選考試験対策事業（対策講座、個別指導など）の実施、試験合格者の先輩との交流会、学生ボランティアの紹介、図書コーナー（試験問題集や教職関係雑誌など）の設置等、採用試験合格を達成できるよう支援を行っています。

教員経験のある特定教授が在籍し、学生の皆さんの教育や教職に対する疑問に答えたり、一緒に考えたりして、教員に必要な資質を身につけることができるよう応援します。教育の現場は、やりがいや感動に溢れた素晴らしい職場ですが、同時に大変なことも多い職場です。個別相談・個別指導等様々な取り組みを通して、皆さんが折れない気持ちを培えるよう、教職に就いてからも活きる、未来に繋がる支援を心がけています。

また、とかく孤独になりがちな受験勉強を支え、共に目標達成に向けて取り組める、教職を目指す学生が学部を越えてつながり、仲間と支え合える環境を整え、学生の皆さんの思いが継続できるよう支援します。

先生になりたい！という夢が実現できるよう、強い意志と熱意とを持って真剣に頑張っている皆さんを全力でバックアップします。是非、教職支援センターと共に、貴方の夢を叶えましょう。

2．教職支援センターについて

教職支援センターでは教員採用選考試験合格に向けて各種講座やガイダンスを開講しています。講座、ガイダンスの案内は実施の約 1 ヶ月前に京女ポータルサイトにてお知らせします。見逃すことのないよう各自で確認、申込み手続きを取って下さい。（代理申込は認めていません）
対象回生・校種にそれぞれ申込期間、申込方法、受講料の有無等に違いがありますので、掲示の内容は十分に確認してください。また、面接・討論・模擬授業（保育）などの個別指導も行っています。内容及び申込方法については京女ポータルサイトにてお知らせします。

教務課　教職支援センター
場所：L 校舎 1F　　TEL：075-531-7275
MAIL：kyoshoku-soudan@kyoto-wu.ac.jp（個別指導予約専用）
　　kyoshoku@kyoto-wu.ac.jp（事務取扱専用）
開室時間：（平日）9：00～17：00

3．４年間の学びのイメージ

教職を目指す皆さんにとって大切な４年間が始まりました。これから皆さんが歩んでいく１年次から ４ 年次までの学びをイメージしながら各年次向けの教職支援センター支援事業を確認してください。目標に向かって確かな一歩を踏み出していきましょう。

１年次　教職への理解期

１年次、皆さんは教育に関する基礎的・基本的な知識を理解することから始めましょう。日々の学科での学びに真剣に取り組み、自分のものにしていきましょう。そしてなぜ自分は教職に就きたいのか、自らの思い、将来についてじっくり考えましょう。自らの思いを確かなものにするために、専門的知識の基礎をしっかり蓄え、教職を理解していく時期です。

教職支援センター支援事業　（対象者）	
７月	教員採用選考試験対策ガイダンス（１・２回生）
１月	保育士資格取得ガイダンス

日本語教師課程について

2020 年 4 月、日本語教師課程が創設されました。これは教育専門職・保育職に就く学生が、教育現場および保育現場における、日本語を母語としない児童・生徒・幼児を対象とした日本語指導技能と、その保護者等への対応方法を修得するために、教職課程・保育士養成課程と連動して開設されたものです。

日本語教師課程独自の必修科目は「日本語教育実習」を含めて 6 科目（12 単位）ですが、いずれも教職課程および保育士養成課程の履修者が、日本語教師課程をあわせて履修できるように、時間割等が工夫されています。

また、京都市教育委員会は、日本語の指導が必要な児童・生徒のために特別の教育課程を編成し、日本語指導担当教員を任用して日本語指導を必要とする学校に配置したり、巡回を行っています。その取組とも連携して、日本語教師課程履修生が、地域の学校における日本語教育を目的とした学校ボランティアおよび保育所ボランティアとして、日本語の学習が必要な幼児・児童・生徒に対応できる資質・能力および態度が身につくような活動も大切です。

今後、東山区内の学校（京都市立開睛小中学校、（社団）善立寺保育園など）でボランティアを受け入れていただく予定ですので、機会があれば積極的に参加してみてください。

リフレクションシートについて

リフレクションシート(P47 Ⅶリフレクションシート参照)を確認し、1 年次から 4 年次まで、毎年次の終了時に記入しましょう。教職への学びを通して身につけたいことを達成できるよう、自らの学びを振り返るとともに、今後の課題を明らかにし、更なる目標へと繋げていきましょう。

各年次終了時に、教職課程の修得や教職への取り組み、学生生活を通して、感じたこと、学んだこと等書き留めておきましょう。その時感じた感動や気づきを書き残していくことが、自分が歩んできた道程を振り返る大切な道標になります。

●1 回生を終えて　1 年次を通して感じたこと、学んだこと等、自由に書きましょう。

Ⅶリフレクションシート(47 ページ)を行いましょう。

2年次　教職への土台づくり期



京都女子学園
マスコットキャラクター
ふじのちゃん

近年、教員採用選考試験においては学力だけでなく、人間性が評価されます。2 年次では、学内に留まらず、幼児・児童・生徒をはじめ、人とかかわる機会を積極的に取り入れていきましょう。クラブ活動やボランティア等に参加することで、人とのコミュニケーションを通して経験の幅を広げ、リーダーシップや協調性、責任感や人間愛を養うことが大切です。また教職支援センター支援事業「教採合格者からのメッセージ動画配信」「教職応援セミナー」等にも積極的に参加して、色々な立場の人の話を聞き、教職への理解を深めていきましょう。この時期の経験の積み重ねが、教員採用選考試験でも、教職に就いてからも、貴方の土台となります。2 年次は、教職に関するあらゆる情報を自ら収集し、経験を重ね教職への土台を作っていく時期です。

また自身の進路に迷っている学生の皆さんは、教職支援センターに相談してください。何が不安なのか、何が分からないのか、分かることが解決への道になるかもしれません。

教職支援センターには、合格へ導くための様々な資料があります。是非、参考にして下さい。(Point★1 参照)

教職支援センター支援事業　(対象者)		受験対策
随時	学生ボランティア紹介　(全回生)★2	教採情報収集　★1
4月～6月	自治体別教員採用選考試験説明会　(全回生)	進路相談
7月	教員採用選考試験対策ガイダンス（1・2回） 第1回教職応援セミナー（2回生）★5	
9月	第2回教職応援セミナー（2回生）★5	
12月	教採合格者からのメッセージ動画配信(全回生)	

※教育実習・介護等体験…教育学専攻

Point　★1　**教員採用選考試験情報収集の仕方**

以下を参考に、自分の希望自治体の情報を調べて記入しておきましょう。目標をもって取り組めるよう、また間際で慌てることの無いよう、2年次に必ず情報収集に努めましょう。

①教育委員会(都道府県・指定都市および豊能地区を含む)の HP を確認する。

②教採ネット(NSK)等、教員採用情報が取得できる HP を確認する。

③私学受験の場合　各都道府県の私学連合(幼・小・中・高)HP を確認する。

④教育新聞を参照する。(教職支援センターに配架)

⑤教員採用選考試験合格者アンケートを参照する。(教職支援センターにて閲覧可)

⑥教職に関する雑誌「教職課程」「教員養成セミナー」を参照する。(教職支援センターにて貸出可)

●自分の希望自治体の情報を調べて記入しましょう

	第1希望	第2希望	第3希望
自治体			
試験日程			
試験科目 試験内容			
倍率			
大学推薦の有無			
加点対象の有無※			

※英検・TOEIC・特別支援学校教諭普通免許状取得見込・複数免許状取得見込　等

Point ★2 **学生ボランティア紹介** ※京都女子中学校、附属小学校含む

学生ボランティアとは、小学校や中学校、高等学校、特別支援学校など学校現場及び幼稚園などで、先生と連携して幼児・児童・生徒の学習支援・保育支援を行うボランティア活動です。授業中の学習支援や放課後の補充学習での支援、学校・園行事での支援、クラブ（部）活動の支援などがあります。ボランティアを通して幼児・児童・生徒の様子や接し方、指導のあり方を学ぶことができるので、教職支援センターでは積極的に参加するよう紹介しています。

【注意事項】

①学生ボランティアに参加する場合は、必ず教職支援センターで登録を行ってください。
②学生ボランティアは公欠扱いにはなりませんので、授業に支障の無い範囲で行ってください。
③宿泊を伴う活動は大学として認めていませんので注意してください。

【申込み手順】

①ボランティア希望地域の教育委員会や学校のホームページ、教職支援センターにある「募集ファイル」、先輩方の作成した「活動報告書」などを見て、受け入れ先を探す。
②学生ボランティアとして受け入れてもらえるかどうか、学校または幼稚園、教育委員会等に確認する。※大学が窓口となってボランティア受入依頼をお願いする自治体（滋賀県・神戸市等）もあるので、詳細については教職支援センターにて確認すること。
③受け入れてもらえる場合、必ず先方と打ち合わせを行い、次の事項について確認する。
・活動期間、活動曜日や時間、活動内容。
・ボランティア保険に加入する必要があるか。
・大学の「紹介状」が必要か。
④教職支援センターで「学生ボランティア登録」を行う。（必須）※詳細は京女ポータルを確認すること。
⑤ボランティア活動を開始する。
⑥ボランティア終了後、教職支援センターに活動報告書を提出する。（必須）※詳細は京女ポータルを確認すること。

●ボランティアを終えて ボランティアを通して感じたこと、学んだこと等、自由に書きましょう。

ボランティア活動の内容・感想等は京女ポータルのポートフォリオ（課外活動）に記録しましょう。

Point ★3 3回生にむけて ・教員養成講座

教員養成講座とは、各自治体の教育委員会が公立学校教員をめざす学生を対象に開催している教員養成のための講座です。現職教員の指導による講座を受け、学校現場を体験する機会を得ることで、各自治体のめざす教育への理解を深めることができます。

教員養成講座への応募は各自で行い、応募書類や面接により選考されます。

なお､教員養成講座の受講は公欠扱いにはなりませんので授業に支障の無い範囲で行ってください。

養成講座名	対象学生・受講資格	開講期間	内　容	申込方法
京都教師塾（京都市教育委員会）	小学校・中学校・高等学校教員（栄養教諭・養護教諭を含む）志望の大学3回生以上、大学院生	10月～6月	京都市教育学講座 授業実践講座 フィールドワーク 学校実地研修　他	各自で京都市教育委員会のHPを確認の上、個別に申し込む。
京都府教師力養成講座（京都府教育委員会）	京都府内公立小学校・中学校・高等学校教員志望の大学3回生、大学院生「京都府教員養成サポートセミナー」修了者、または出願年度において出願時までに10日以上の学校におけるボランティア経験者	2月～6月	「夢・未来」講座 教育実践演習	教職支援センターからの掲示を確認し、申込期限内に教職支援センターへ申し込む。
大阪市教師養成講座（大阪市教育委員会）	大阪市立小学校・中学校教員（養護教諭を含む）志望の大学 3 回生以上	9月上旬～3月上旬	講座 学校現場実習　他	各自で大阪市教育委員会のHPを確認の上、個別に申し込む。
滋賀の教師塾（滋賀県教育委員会）	滋賀県内公立小学校・中学校・高等学校教員志望の大学3回生以上、大学院生	10月初旬～6月中旬	必修講座・選択講座 学校実地体験	各自で滋賀県教育委員会のHPを確認の上、個別に申し込む。

※教員養成講座の詳細は毎年度変更になる可能性があります。

※これらの自治体以外にも教員養成講座を開催している自治体はたくさんあります。自分の受験する自治体の情報を確認するようにしましょう。

♪先輩から一言（英文学科　高校教員合格）

大学での教職関連の講義は，教職についての知識習得のための場ではなく，多くの先生方のそれぞれの教育観について触れ，自身の中で考えを深化させていくチャンスでもあります。なので，教師になりたい人も企業就職する人も同じ免許取得を目指すのであれば，講義に前向きに意欲をもって取り組み続けることが一番大切だと思います。

Point ★4 3回生にむけて・東京アカデミー連携事業

3回生後期（10月頃）から本格的に筆記試験対策「筆記試験特化」や小論文試験対策「小論文講座」がスタートします。東京アカデミーのテキストを使用し、各分野に特化した講師陣から講義形式で解説を受けることができます。受講を検討してみましょう。

Point ★5 2回生～3回生　教職応援セミナー

教職を目指す2回生・3回生の皆さんを対象に『教職応援セミナー』を開講します。2回生7月～3回生1月までの期間に計7回実施予定です。「教育現場で学ぶこと、学んだこと」「自己分析・自己PRを考える」「貴方が目指す教師像」「思いを伝える面接とは」等、今考えるべきテーマに沿って、特定教授、教職カウンセラーが行います。2・3回生での学びを、教職を目指す力にできるよう、4回生までのこの時期にこそ、一緒に考え、準備を万全に整えていきましょう。

●2回生を終えて　2年次を通して感じたこと、学んだこと等、自由に書きましょう。

Ⅶリフレクションシート(47ページ)を行いましょう。



3年次　教職への準備万全期

3回生は、大学生活の中では折り返しの時期ということになります。しかし、教職を目指す上では、まだあと2年あるという気持ちでいてはいけません。4回生になれば、すぐに教員採用選考試験の出願が始まります。そのため3回生では、1年をかけて受験する自治体を決定し、教員採用選考試験に合格するための諸準備を万全にしなければなりません。学部によって異なりますが、教育実習や介護等体験事業への参加（表の外、※参照）を通して貴重な現場での体験・経験を積み上げていきましょう。そして、皆さんが受験しようと考えている自治体の教員採用選考試験説明会（★1）には是非とも参加し、各自治体の出題傾向や求める教師像などの情報収集に努めましょう。また、受験を考えている自治体が開催している教員養成講座（自治体によって名称は異なる）には、時間の許す限り参加して現職教員の指導による講座や学校現場を体験する機会を得ることで、各自治体の目指す教育への理解を深めるのも良いでしょう。

さらに、10 月頃から始まる東京アカデミー主催（★３）の筆記試験特化講座や小論文講座などを利用し、試験問題の傾向と対策にも慣れておき、自信をつけることが大切です。年が明け２月になれば、教職支援センターの特定教授の個人面接や集団面接・集団討論の指導も始まります。幼稚園・小学校・中学校で長く経験されてきた現場教員としての視点から、示唆に富んだ指導、助言が得られます。積極的に利用しましょう。

教職支援センター支援事業(対象者)		受験対策	
		教職支援センター	東京アカデミー★３
４月･５月		ﾋﾟｱﾉ実技特化（前期）★4 第３回教職応援セミナー	
５月～７月	自治体別教員採用選考試験説明会(全回生) ★１		
７月	教員採用選考試験対策ガイダンス①(３回生)		
９月	教員採用選考試験対策ガイダンス②(３回生)	ﾋﾟｱﾉ実技特化（後期）	
10 月～３月		第４回～第７回 教職応援セミナー	筆記試験特化講座 小論文講座①
12 月	自治体別教員採用選考試験説明会(1～３回生) 京女教育シンポジウム(教育学科) 教採合格者からのメッセージ動画配信(全回生)★２		
３月			自治体別教員採用 選考模擬試験

※教育実習…教育学専攻、児童学科

介護等体験…養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻、文学部、家政学部、
現代社会学部、法学部

Point ★1 自治体別教員採用選考試験説明会

例年、各自治体の教員採用選考試験の要項が完成し、募集期間に入る４月～６月にかけて、本学の先輩が採用されている自治体や受験している自治体から、教育委員会の採用選考試験担当の方が来られて、直接試験の要項を説明していただいたり、皆さんからの質問にお応えいただく機会があります。受験をしようと考えている自治体や受験しようかどうか迷っている自治体の説明会には積極的に参加し、情報収集に努めましょう。また、11 月～12 月にかけては、教員採用選考試験の結果を踏まえての各自治体の説明会も開催されますので、どちらも昼休みの限られた時間ではありますが、有効に活用しましょう。

Point ★2 教採合格者からのメッセージ動画配信

12 月になると全回生対象に配信されます。とりわけ教採を目指す 3 回生の皆さんには、視聴してほしい合格者からのメッセージです。教員採用選考試験に合格された 4 回生の先輩方を代表して、後輩の皆さんに教採合格までの道のりについてアドバイスしていただいた動画です。校種別に配信され、教員採用選考試験に本格的に取り組みだしたのはいつ頃からか。教職支援センターをどのように利用したのか。東京アカデミー主催の教員採用選考試験対策ガイダンスや各種講座をどのように利用したのか。ハードな日々のスケジュールの中で、教師になるのだという決意をいかに持ち続けて教員採用選考試験に臨んだのか。また、教員採用選考試験までの残り半年間を如何に過ごしたらよいのか、等々。3 回生にとってとても有意義な内容になっています。いつでも観ることが出来るので、是非活用して下さい。

Point ★3 東京アカデミーの講座活用

受験対策として　有効に活用していけるのが東京アカデミー主催の「筆記試験特化講座」「小論文講座」です。全国の自治体の教員採用選考試験情報を網羅した筆記試験の講座や小論文の講座を開いています。また、「教員採用選考模擬試験（学外開催）」で自分の力を試すことも重要です。自分に足りない内容や勉強法は何か等自己分析をすることもできます。

自己流の採用試験対策で頑張ることも必要ですが、各自治体の詳しい情報をもとに試験対策を示唆してくれるという点では、有効な手段といえます。京女ポータルに案内を出しますので是非、活用してみてください。

Point ★4 ピアノ実技特化

幼稚園教諭・小学校教諭・保育士の採用試験にあるピアノ実技を苦手としている学生のレベルアップを図ることを目的として、音楽教育学専攻（4 回生）・表現文化専攻（大学院生）が講師となり週 1 回のレッスンを行います。教材・課題曲は受講生が見てもらいたいものを準備し、相談しながら受講することができます。ピアノはすぐに上達するものではありませんので、毎日少しずつ早い時期から取り組むようにしましょう。

Point ★5 4 回生にむけて・学校推薦応募について

【学校推薦の概要】

学校推薦とは、大学が教育委員会から依頼を受け、優れた学生を推薦する出願方法です。毎年多くの自治体が募集をおこなっており、教職支援センターが学内窓口となっています。

被推薦者となった学生は教員採用選考試験の一部（筆記試験など）が免除されますが、残りの試験は他の受験者と同様に受験する必要があるため、被推薦者が必ずしも合格者となるわけではありません。

学校推薦で出願する場合、**出願先の教育委員会の受験が最優先となり、また合格した場合は辞退が認められません。**「必ずその自治体で教員になる」という強い意志をもって応募してください。

【学内選考への応募】

各自治体より学校推薦による募集連絡があった場合、京女ポータルでお知らせします。学内選考応募を希望する場合は、京女ポータルで募集要項データを確認するとともに、応募手順の指示に従い手続きを行ってください。

（手続きの流れ）

①京女ポータルに掲示する募集要項、応募手順をよく確認する。

②学内選考に必要な書類を準備し、期限までに教職支援センターに提出する。

③書類選考が実施され、選考通過者は引き続き面接選考を受ける。

④学内選考の合否を確認し、合格した場合は出願手続きを行う。

【学校推薦による出願】

学内選考の結果は、所定の発表日時に確認してください。合格した場合は速やかに教育委員会への出願書類の準備を行うことになります。なお、被推薦者の出願書類は、大学が取りまとめて教育委員会に送付します。※受験者本人が電子申請（WEB）する必要がある自治体もあります。

【学校推薦に関する情報】

教育委員会より学校推薦による募集の連絡が届く時期は、自治体によってさまざまです。学内選考の応募受付期間が非常に短い場合もありますので、３回生の３月以降はこまめに京女ポータルを確認するようにしてください。

○京都教育大学大学院連合教職実践研究科　特別推薦について

京都教育大学大学院連合教職実践研究科は、基幹校である京都教育大学と連合構成大学（京都女子大学を含む京都の私立大学）、京都府・京都市教育委員会と連携して設置された教職大学院です。

京都教育大学大学院連合教職実践研究科への進学は、一般受験の他、連合構成大学に対する特別推薦枠があり、本学からも毎年数名が特別推薦で進学しています。

特別推薦についての説明会は、毎年７月頃に実施しています。応募資格や推薦人数などの説明をしますので、卒業回生の進学希望者は必ず参加するようにしてください。

説明会の開催に関する情報は、京女ポータルでお知らせします。

☞Point　★5　４回生にむけて

４回生は進路を決定する大切な１年間です。４回生になってから考えるのではなく、３回生のうちに１年間のスケジュールを確立するとともに、１日１日を決して無駄に過ごさないよう日々の計画も充実させてほしいものです。

●3 回生を終えて　3 年次を通して感じたこと、学んだこと等、自由に書きましょう。

Ⅷリフレクションシート(47 ページ)を行いましょう。



4 年次　教 職 へ の 決 断 期

4 年次は、教員採用選考試験にむけてラストスパートをかける時期です。今まで、学生ボランティアや教育実習などの経験を積み重ねてきました。その経験を通して、学校現場の教職員の大変さやチーム学校として一丸となって取り組んでこられている様子なども把握してきました。また、幼児、児童、生徒との関わりの中で、様々な環境の中でもたくましく生きていこうとする力強さ、学力をつけるという教師の使命感も感じてきたと思います。自分が経験し体験する中で培ってきたコミュニケーション力や社会人としての資質・能力などをフルに発揮して、教員採用選考試験に臨みましょう。

教職支援センター支援事業(対象者)		受験対策	
		教職支援センター	東京アカデミー
4月～8月		特定教授・教職カウンセラーによる教採対策個別指導 ★1	
4月･5月			小論文講座②
5月		ピアノ実技特化（前期）	
12月	京女教育シンポジウム(教育学科) ★2		

※教育実習…教育学専攻、児童学科、養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻・文学部
家政学部・現代社会学部

Point ★1 **教採対策個別指導**

各自治体では、その自治体の教育方針にあった人材を求めています。その人材を見極めるために個人面接や集団討論などの内容を工夫して行っています。能力がいくらあっても、実際の試験場面で緊張して本来の力が出せないようでは、今までの努力が報われません。教師にふさわしい能力を評価してもらうために努力を惜しまないようにしましょう。

教職支援センターでは、各自治体の教員採用選考試験の内容や情報をもとに個々の学生の皆さんに「個人面接・文章添削・集団面接・集団討論・模擬授業」に関わる支援を行っています。特定教授や教職カウンセラーが実際の個人面接や集団討論などの場面を想定した面接練習のお手伝いをします。

個人面接では、入退室の仕方に始まり、服装チェック、面接の主な質問に対する答え方のヒントなどを提案しながら繰り返し練習を行います。堂々と自分の考えを述べられるよう自分らしさのある返答の仕方などをアドバイスします。

教職カウンセラーの方には主に「集団面接や集団討論」「文章添削」を担当していただいています。集団面接や集団討論等では、学生の皆さんが、自治体ごとや、自治体で人数が集まらない場合は、他の自治体受験の方とグループを組んで、自治体ごとのねらいに合った面接の場面を想定し学生同士で話し合いや討論をします。グループの中での対話のつなぎ方や討論のポイントなどを指摘しつつ、繰り返し練習ができるように支援しています。同じ志をもった仲間とともにグループ練習に挑むことで互いのスキルアップにつながります。

文章添削は、あらかじめ学生の皆さんが記述した小論文や自己アピール文を添削します。その内容や構成などについてコメントを添えた添削文として返却します。どのような内容で、どのような文章構成で書いていくべきかを丁寧に指導しています。

模擬授業（保育）では、各自治体の内容に合わせて、本時の授業および保育の様子を確認し様々な角度からアドバイスを行います。実際の授業・保育時間に合わせた構成や発問、板書、場の設定、

教師のパフォーマンスなど詳しく指導しています。模擬授業（保育）をすることで一人一人の教師としての高い資質・能力が光る授業のあり方を一緒に考えて行きます。

このように、様々な立場から教員採用選考試験に向けての支援を行っていますので、気軽に申し込み何度でも繰り返し練習してください。試験当日緊張することなく自分の力が発揮できるように教職支援センターを活用しましょう。

Point ★2 京女教育シンポジウム

「京女教育シンポジウム」とは、教育学専攻が 20 年間続けてきた卒業生の小学校教諭と学生の交流会です。「学校教育実践研究会」が大学行事となり、毎年行われている行事です。卒業生の小学校教諭や中学校や高等学校の教科の教諭、養護教諭、4 月から小学校に勤めている若手の先生などから普段の教育活動での現場報告をしていただきます。

また、報告会の終了後は、先生方、学生、大学教員との懇談会なども開かれます。教職の仕事に対する日頃の不安や疑問などに適切なアドバイスをいただけると思います。

教職を目指す学生の皆さんには、現場で活躍されている教員の方々から　現場の生の声を聞かせていただく絶好のチャンスです。是非、参加してみてください。

※毎年 12 月初め頃の週末に開催されます。詳細は京女ポータルにて周知します。

●4 回生を終えて　教師になるということ、教師への思い等、書きましょう。

Ⅶリフレクションシート(47 ページ)を行いましょう。

Point ★3 先輩からのメッセージ（教採合格者からのメッセージ動画）

教員採用選考試験・合否結果を教職支援センターに必ずお知らせください。

Ⅲ．教育実習・介護等体験

1．教育実習について

⑴　教育実習を行うにあたって
⑵　教育実習履修の条件および中止について
⑶　実習の心得
⑷　教育実習のためのチェックリスト
⑸　実習校への連絡（電話のかけ方）について
⑹　お礼状について
⑺　実習校訪問時の服装について
⑻　Topic ～実習で知り得た情報の取り扱い～

2．介護等体験について

⑴　介護等体験の制度
⑵　介護等体験を行うにあたって
⑶　介護等体験のためのチェックリスト

・各項目の詳細は、オリエンテーションで説明します。
・オリエンテーションには、必ず出席してください。
（無断欠席すると、実習に行けません。）

1．教育実習について

(1) 教育実習を行うにあたって

①教育実習を行う前に

教育実習は、将来教師となる強い熱意を持った人だけが履修できる実習科目です。在学中に取得できる資格は何でも取ろうという安易な考え方の学生が教育実習を行うことは、実習校(園)、そして何よりも子どもたちにとって多大な迷惑となります。

実習生は、実習校(園)の教育実習に対する深い理解と協力があって実習を受け入れていただいていることを十分に認識し、「必ず自分は教員として教壇に立つのだ」という明確な目的意識をもって、実習に臨んでください。

実習生は、以下の要領に基づいて、実習を行います。各項目の詳細については、教育実習オリエンテーションにおいて、説明します。

教育実習要領	
事前指導	**大学実施のオリエンテーション**に出席（全３回）。 （スケジュールは、京女ポータルのリンクより「教職課程スケジュール」(★)を参照） ★リンク：履修支援 ― 2. 教職・諸資格 ― 教職支援センター（教職課程） --- 自分が出席するオリエンテーションの日程を４ページに記入しましょう。
実習先	〈実習先の主な種類〉 ・**協力実習校(園)** ・**教育委員会に申請が必要な学校・幼稚園** ・**京都市立学校・幼稚園** ・**京都女子大学附属小学校**　（教育学科　教育学専攻のみ） ・**指定幼稚園**　（児童学科のみ）
実習期間　**※1**	実習校種等により異なる。
実習時期　**※1**	実習校種等により異なる。
実習依頼	実習校(園)へ、学生が個別に交渉（依頼）する。 但し、一部の地域の公立学校では、教育委員会を通して実習先が決定する場合がある。　**（学生の個別交渉は不可）**
費用	**【教職課程履修費】**　**39,000 円** （2 回生時より 3 回に分けて納入　（13,000 円/1 年）） **【教育実習委託費】**　金額は、実習先や実習期間によって異なる。 ・1 週間実習　**5,500 円** ・2 週間実習　**11,000 円** ・3 週間実習　**18,000 円** ・4 週間実習　**22,000 円**

※1　実習期間・実習時期・実習学校種について

① 文学部、発達教育学部 教育学科 養護・福祉教育学専攻、発達教育学部 教育学科 音楽教育学専攻、家政学部、現代社会学部、法学部

取得希望免許種	実習学校種	期間（実習日数）＊	実習時期
中学校教諭のみ	中学校	3 週間（15 日間）	4 回生時
高等学校教諭のみ	高等学校	2 週間（10 日間）	
中学校教諭＋高等学校教諭	中学校	3 週間（15 日間）	

② 発達教育学部 教育学科 教育学専攻

取得希望免許種	実習学校種	期間（実習日数）＊	実習時期
小学校教諭のみ	京都女子大学附属小学校	2 週間（10 日以上）	2 回生時
幼稚園教諭のみ **小学校教諭＋幼稚園教諭**	小学校 または　幼稚園	3 週間（15 日間）	3 回生時
特別支援学校教諭	特別支援学校	2 週間（10 日間）	4 回生時

③ 発達教育学部 教育学科 養護・福祉教育学専攻

取得希望免許種	実習学校種	期間（実習日数）＊	実習時期
養護教諭	小学校（原則）	4 週間（20 日間）	4 回生時

＊養護教育実習とは別に、本学が指定した病院で、1 週間の「看護臨床実習」を行います。（3 回生時）

④ 発達教育学部 児童学科

取得希望免許種	実習学校種	期間（実習日数）＊	実習時期
幼稚園教諭	指定幼稚園	2 週間（10 日間）	3 回生時
	幼稚園	2 週間（10 日間）	4 回生時

⑤ 家政学部 食物栄養学科

取得希望免許種	実習学校種	期間（実習日数）＊	実習時期
栄養教諭	小学校（中学校でも可）	1 週間（5 日間）	4 回生時

＊　教育実習期間（実習日数）について

…　「期間（実習日数）」欄には、教育実習に**最低限必要な実習日数**を記載しています。

◎実習を行う日数が**必要日数を満たすよう、**各自で実習先にお願いしてください。

◎実習期間中に、**休日や祝日がある場合には特に注意して、**必要日数を確保してください。

◎体育祭や文化祭等の行事日も学校教育の一環であるため、実習先が実習を認めれば実習日に含めることができます。

②教育実習の内諾を得るうえでの注意点

教育実習の内諾を得るための交渉は、実習生への指導がその学校(園)にとって大きな負担であることをわきまえ、熟慮のうえ慎重に行ってください。実習受け入れの学校(園)にとって、学級運営及び学校経営に及ぼす影響は、はかり知れないものがあります。

「教育実習のお願いをする」ということは、翌年に必ず実習を行うということです。内諾を得た後は実習を辞退することはできません。将来、教師になる強い意志のある学生だけが、教職課程の履修を決定し、手続きを進めてください。実習辞退は、実習校(園)に大きな迷惑をかけるばかりでなく、本学の信用が損なわれ、**後輩の教育実習を断わられる事態にもつながります。**くれぐれも安易な気持ちで内諾を得ることのないようにしてください。

一個人としてではなく、京都女子大学の学生として教育実習のお願いをすることになるので、交渉の際は謙虚かつ丁寧な態度を心がけてください。

教育実習の内諾依頼方法等の詳細については、教育実習オリエンテーションで説明します。(実習校（園）への連絡（電話のかけ方）については、28 ページ参照。)

③教育実習の辞退について

教育実習は将来教師となる強い意志を持って臨むべきものであり、安易に依頼したり辞退したりするものではありません。実習辞退は、実習校(園)に多大な迷惑をかけるばかりでなく、本学の信用が損なわれ、**後輩の教育実習を断わられる事態にもつながります。**将来、教師になる強い意志のある学生だけが、教職課程の履修を決定し、手続きを進めてください。

やむを得ない理由で辞退する場合は、必ず教務課に相談したうえで、**「教育実習辞退届」**を提出してください。ただし、教育実習の手続きが進んでいる場合、教育委員会・実習校への影響が非常に大きいため、安易な理由により辞退することはできません。

なお、4 回生で行う教育実習を辞退した場合、**「教職実践演習」**は履修できません。

(2)教育実習履修の条件および中止について

教育実習履修の条件

（1）オリエンテーション（事前指導）に必ず出席すること。
（オリエンテーションの予定は、京女ポータルのリンク集掲載「教職課程スケジュール」（★）を参照 ）
★リンク：履修支援 ― 2. 教職・諸資格 ― 教職支援センター（教職課程）

（2）先修条件科目を実習を行う前年度までに修得しておく（「**先修条件**」）こと。
（先修条件科目は、『単位修得要領 2022』119～120 ページに掲載）

（3）実習を行う前年度末までの累積 GPA が**「2.0」以上**であること。

（4）卒業の見込みがたつこと。

（5）教員免許状取得の見込みがたつこと。

※ 以上の条件をすべて満たしていないと教育実習に行くことができません。

※ 前年度に教育実習の内諾を得ていても、以上の条件を満たさなければ、実習は取り止めとなり、卒業と同時に免許状を取得できません。

※ 『京都女子大学履修要項』第 60 条の（1）～（3）(『単位修得要領 2022』120 ページ)の事項すべてを満たさないと、教育実習は中止になることがあります。

⑶実習の心得

・教育現場で教育に従事するという自覚

短期間ではあるものの、実習生も教職員の１人として教育に従事するということを十分に理解し、服装、態度、言動に配慮する必要があります。教育実習中は実習に専念するとともに、京都女子大学の代表であることもしっかりと認識してください。今後、後輩の実習を引き続き受け入れてもらえるかどうかは、あなたの実習にかかっています。

・多くの皆さんの助力に支えられているという自覚

教育実習は校長先生、指導教諭の先生をはじめとして多くの方々の助力によって成り立っていることを忘れないでください。学校側は非常に多忙な中、貴重な時間を割いて、実習生としてのあなたを受け入れてくださっているのですから、つねに感謝の気持ちをもって有意義な実習を進められるよう心掛ける必要があります。

・真剣に教員になることを考えている人のための実習であるという自覚

教員になるためにどうしても必要な実習ということで引き受けていただいているのですから、ただ免許状を取得するためだけで教員になるつもりのない実習生はいないはずです。いい加減な態度は慎み、教員になるという強い意志と高い意識をもって実習に臨まなければなりません。

＊大学及び実習先の規則や指示を守らなかった場合、実習は中止となることがあります。

＊緊急事態が発生した場合は、実習先の校長先生、大学の指導教員または教務課に連絡をしてください。

＊ハラスメントを受けた場合は、まず大学の指導教員または教務課に連絡をしてください。

⑷教育実習のためのチェックリスト

１．実習前の準備

- □ 先修条件科目の修得状況を確認
- □ 実習前年度終了時の累積GPAを確認
- □ オリエンテーション（事前指導）への出席
- □ 教育実習の内諾手続き
  - ・実習先への依頼　→　大学へ内諾書を提出
  - ・配当先教育委員会等への申し込み（教務課への申し込み）
- □ 大学の定期健康診断を受診
- □ はしか調査票を提出
- □ 実習期間中の通学定期券の申請(学生支援課)
- □ 事前挨拶
- □ 巡回指導の有無を確認（巡回指導 有 の場合は、巡回指導担当教員と打ち合わせを行う）
- □ 教育実習データ（実習先の住所や実習期間、実習先への経路等）を「京女ポータル」に入力
- □ 事前指導の公欠手続き

２．実習期間中

- □ 遅刻、早退、欠席の厳禁
- □ 企業の就職活動、アルバイトの厳禁
- □ 積極的な挨拶の励行
- □ 持ち物・身だしなみ等の確認（身だしなみについては、29ページ参照）
- □ 健康管理
- □ 実地授業の準備等
- □ 実習先での規則や指示を守る
- □ 最低限必要な実習日数を確認
  （実習日数が不足している場合は、実習期間の延長を実習先に依頼）
- □ 守秘義務の遵守（実習終了後も）
- □ 児童生徒、保護者との個人的な接触(メールアドレスやLINEのID等の交換等)を避ける

３．実習終了後

- □ 実習先での事後指導（但し、大学の授業は公欠にはならない）
- □ お礼状（お礼状の書き方については、29ページ参照）
- □ 実習期間中の公欠手続き
- □ 実習日誌の提出（日誌の記入や提出方法は、オリエンテーションで説明）
- □ 実習に関する反省点を「京女ポータル」に入力

⑸ 実習校への連絡（電話のかけ方）について

※ 明るくハキハキと！　要点をまとめてから、電話をかけましょう。

※ 自分の予定は事前に確認しておくこと。

①大学名、氏名を告げ、簡単な用件を伝える。

例)「わたくし、京都女子大学 ○○学部 ○○学科の○○○○と申します。来年度の教育実習の依頼でご連絡させていただきました。教頭先生か実習担当の先生はいらっしゃいますか？」

②担当の先生に取り次いでもらったら、再度名乗り、用件を話す。

例)「わたくし、京都女子大学 ○○学部 ○○学科の○○○○と申します。来年度の教育実習の受入の依頼をさせていただきたくお電話させていただいております。つきましては、訪問して直接ご依頼できればと思っておりますので、ご都合の良い日程と時間をお知らせいただけないでしょうか？」

③終わりの挨拶

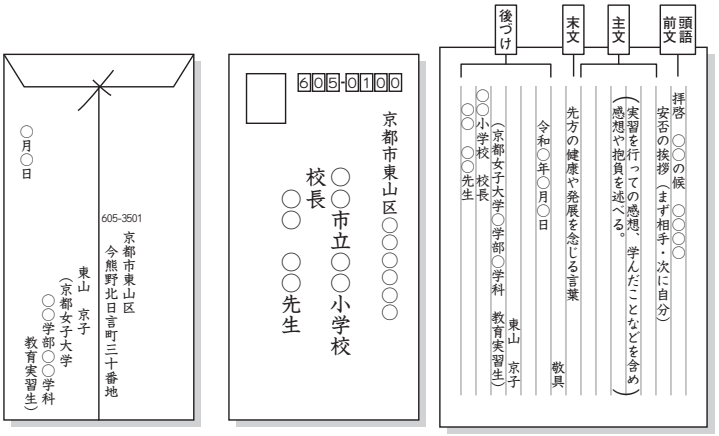
例)「お忙しいところ、どうもありがとうございました。失礼いたします。」

④相手が切ってから、電話を切る。

⑹ お礼状について

お礼状は自分の感謝の気持ちを表すものです。
誰に送ればいいのか、内容については、各自で考えてください。

◎ 実習終了後、1ヶ月以内に出しましょう。
◎ 校長先生、実習担当の先生には必ず送りましょう。
◎ 自分のことばで、実習を行っての感想・学んだことなどを含め、感謝を述べましょう。



⑺ 実習校訪問時の服装について



⑻ Ｔｏｐｉｃ

【Topic　～実習で知り得た情報の取り扱い～】

近年、ブログ、Twitter、Instagram、Facebook、LINE等のSNSの普及により、教育実習における個人情報の流出が問題になっています。実習において知り得た情報については、実習先や生徒（児童）のプライバシーを侵害することになりかねないため、その取扱いには細心の注意が必要です。実習生には，実習期間中だけでなく実習後も個人情報の守秘義務が生じます。

1）　実習において知り得た情報や画像等は、絶対にＳＮＳ（ブログ、Twitter、Instagram 、Facebook、LINE等）に投稿しないこと。閉じられたグループ内であっても、流出の危険があるため、絶対に投稿しないこと。

2）　実習上知り得た個人情報は、絶対に話さないこと。

3）　実習先の生徒（児童）に関する記録・メモは紛失しないように適切に管理・処分すること。

4）　実習校（園）で録音・録画等が必要な場合は、あらかじめ教員・指導者の許可を得ること。

トラブル事例

1）　実習先の生徒と一緒に撮った写真をLINEに投稿した結果、誰かがコピーして公開し、画像データが流出した。

2）　電車の中で友人と実習先の生徒の話をしていたところ、たまたまその電車に乗っていた生徒の知り合いの人に聞かれた。

3）　実習の様子を勝手にビデオに収録したため、生徒の保護者から苦情があった。



●教育実習を終えて

１回目

２回目

2．介護等体験について

(1) 介護等体験の制度

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」に基づき、**小学校教諭**及び**中学校教諭**の免許状取得を希望する者の資質向上のために設けられた制度です。(小学校教諭及び中学校教諭以外の免許状取得については不要です。)

(2) 介護等体験を行うにあたって

以下の要領に基づいて、３回生時（教育学専攻は２回生時）に**特別支援学校**と**社会福祉施設**で体験を行います。各項目の詳細については、介護等体験オリエンテーションにおいて、説明します。

介護等体験要領	
事前指導	**大学実施のオリエンテーション**に出席（全３回）。 （スケジュールは、京女ポータルのリンクより「教職課程スケジュール」（★）を参照） ★ リンク：履修支援 ― 2. 教職・諸資格 ― 教職支援センター（教職課程） 自分が出席するオリエンテーションの日程を４ページに記入しましょう。
体験先	**【特別支援学校】** **京都府** または **滋賀県、奈良県** **【社会福祉施設】** 原則、**帰省先都道府県**
体験日数	**【特別支援学校】** **２**日間 **【社会福祉施設】** **５**日間 合計 **７**日間
体験時期	**【特別支援学校】** **通常の授業日** ※1 **【社会福祉施設】** 原則、**大学の夏休み中**
申請手続き	**大学が一括して申請を行う。(学生の個別交渉は不可)** **【特別支援学校】** 教育委員会 **【社会福祉施設】** 社会福祉協議会
体験費用 ※3	**社会福祉施設体験費** ※2 **健康診断書発行料** 600 円(@300 円× 2 通)

※1 ただし、体験先によっては、夏休み中の登校日に体験を行う場合がある。

※2 体験先都道府県によって、体験費の金額は異なる。(7,500 円～11,250 円)

※3 特別支援学校の体験費は無料。(但し、体験証明書発行に係る手数料等は、自己負担)
その他、保菌検査料や交通費・食費等についても自己負担となる。

（3）介護等体験のためのチェックリスト

1．体験前の準備

- □ オリエンテーション（事前指導）への出席
- □ 介護等体験の申し込み手続き（大学へ申込書類を提出）
- □ 大学の定期健康診断を受診
- □ はしか調査票を提出
- □ 体験期間中の通学定期券の申請(学生支援課)
- □ 事前挨拶（必要な体験先のみ）
- □ 事前指導の有無（日時）を確認
- □ 保菌検査（検便）の検査結果を提出（必要な体験先のみ）
- □ 事前指導の公欠手続き
- □ 体験先までの交通機関と所要時間の確認

2．体験期間中

- □ 遅刻、早退、欠席の厳禁
- □ 積極的な挨拶の励行
- □ 持ち物・身だしなみ等の確認（身だしなみについては、29 ページ参照）
- □ 健康管理
- □ 体験先での規則や指示を守る
- □ 守秘義務の遵守（体験終了後も）
- □ 「介護等体験証明書」の証明印を体験先に依頼

3．体験終了後

- □ お礼状（お礼状の書き方については、29 ページ参照）
- □ 体験期間中の公欠手続き
- □ 介護等体験日誌（「介護等体験証明書」含む）の提出
  （日誌の記入や提出方法は、オリエンテーションで説明）

●介護等体験を終えて

Ⅳ．教育職員免許状申請

1．教育職員免許状申請について

2．学校図書館司書教諭について

3．科目等履修について

1．教育職員免許状申請について

免許状は、教育職員免許法に定められた要件を満たし、所要資格を有する者が各都道府県の教育委員会に申請することにより授与されます。申請の方法には**一括申請**と**個人申請**とがあります。

（1）一括申請

① 申請手続き

本学 3 月卒業見込み者で、本学の規定に基づいて免許状取得に必要な単位を満たした者については、大学が京都府教育委員会に一括して申請手続きを行います。

一括申請のために、卒業年次の 11 月上旬に**「教育職員免許状申請手続説明会」**を行います。日程は京女ポータルで確認してください。公欠と認められる事由以外で欠席した場合、一括申請はできません。個人申請となりますので、注意してください。

一括申請のスケジュール及び内容は、下表のとおりです。変更の可能性もありますので、実際のスケジュールは、必ず申請手続説明会や京女ポータルで確認してください。

（2022 年度の場合）

時期（すべて卒業年次）	内　容　等
11 月上旬	「教育職員免許状申請手続説明会」 申請書類の記入・提出。
	自分が出席する説明会の日程を 4 ページに記入しましょう。
11 月上旬～12 月中旬	申請手数料納入期間 手数料：申請 1 件につき 3,560 円
12 月中旬	大学が京都府教育委員会に申請書類を提出。
2 月下旬	大学が免許状に必要な単位修得状況の最終確認。
卒業式前日	京都府教育委員会より大学が免許状を受領。
卒業式当日	免許状授与（大学より配付）

② 一括申請の場合の免許状の授与権者及び授与年月日

ⅰ)授与権者：**京都府教育委員会**

ⅱ)授与年月日：**卒業式の日付**

大学は申請の手続きは行いますが、免許状は京都府教育委員会が発行授与します。（卒業後に、紛失による再発行や書き換え等が生じた場合は、京都府教育委員会に問い合わせてください。）

③ 一括申請の取り下げ

学年末試験終了後に、免許状取得に必要な単位の修得状況の最終確認を大学が行います。単位が不足している場合及び卒業判定が「保留」になった場合（学年末試験の追・再試験対象等）は、

申請を取り下げます。(一括申請からは取り下げますが、免許状取得に必要な単位を満たす場合は、個人申請（後述（２））が可能です。)

④ 栄養教諭免許状の申請

栄養教諭免許状の申請は栄養士の免許状を申請する都道府県で行うため、京都府以外での申請については一括申請できません。詳細およびスケジュール等については、**「教育職員免許状申請手続説明会」**にて説明します。栄養教諭免許状の取得希望者も説明会には必ず出席してください。

⑤ 本籍地の確認

免許状には、本籍地が記載されます。本籍地（都道府県名のみ）調査を**第 3 回教育実習オリエンテーション(事前指導)**(卒業年次の 4 月上旬)で行いますので、事前に確認しておいてください。

（２）個人申請

一括申請できなかった場合でも、教育職員免許状取得に必要な単位を満たした後、個人申請をすることができます。科目等履修生も個人申請となります。

個人申請は、居住地（住民登録地）の都道府県教育委員会に申請を行ってください。各都道府県教育委員会により手続き方法および提出書類が異なるため、各自で問い合わせてください。

申請に必要な書類

①教育職員免許状授与申請書(教育委員会所定用紙)
②学力に関する証明書
③介護等体験証明書（小学校又は中学校の教育職員免許状取得希望者のみ）
④その他（各都道府県教育委員会が指定する書類）

個人申請の場合の授与権者は、各自で申請した都道府県の教育委員会となります。

令和 4 年 7 月 1 日に教員免許更新制が廃止されました。授与年月日が令和 4 年 7 月 1 日以後の教員免許状（普通免許状及び特別免許状をいう。）は、生涯有効（有効期間の定めなし）となります。

2．学校図書館司書教諭について

「学校図書館司書教諭」とは、学校図書館（小学校・中学校・高等学校）において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集・整理・保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供する等の専門的職務に従事する教諭です。

この資格を取得するためには、教育職員免許状（小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭のいずれか。幼稚園教諭、特別支援学校教諭、栄養教諭および養護教諭は対象外）の取得を前提として、本学「学校図書館司書教諭講習規程」に基づく所定の科目を履修し、単位を修得しなければなりません。『単位修得要領 2022』の「Ⅰ.京都女子大学履修要項」第 24 章(122 ページ)を参照のうえ、「学校図書館司書教諭に関する履修科目表」(112 ページ)に定める科目を履修してください。

（1）学校図書館司書教諭資格の取得について

次の①と②の条件を両方とも満たし、所定の手続きを行うことにより、文部科学省より「修了証書」が授与されます。この「修了証書」が資格の証明となります。

① 教育職員免許状（小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭のいずれか）を取得していること。
幼稚園教諭、特別支援学校教諭、栄養教諭および養護教諭は対象外です。

② 学校図書館司書教諭講習を受講すること。
※ただし、本学で所定の単位を修得することにより講習が免除され、書類の提出のみで講習に参加することになります。

司書教諭講習の書類参加の手続きは、教員免許状取得後となり、卒業後に書類参加することになります。そのため、卒業と同時には資格を取得できません。
「修了証書」の受領までに、卒業から約１年かかります。

（2）学校図書館学講座受講料

① 1 科目につき　1,000 円の受講料が必要です。

② 納入時期については、「京女ポータル」にてお知らせします。

（3）学校図書館司書教諭資格申請手続き

学校図書館司書教諭資格申請のスケジュール及び内容は、下表のとおりです。変更の可能性もありますので、必ず京女ポータルで確認してください。

★申請者（学生）が行う手続き　（2022 年度の場合）

時期（卒業年次）	内　容　等
11 月上旬	申請手続説明会（教育職員免許状申請手続説明会と同時に開催） 下記の申請書類を記入し、大学に提出する。 （1）「学校図書館司書教諭講習申込書」（※1） （2）「教育職員免許状授与証明書交付申請書」（※2） その他必要な書類を申請者が記入して大学に提出する。
２月下旬から３月中旬	申請手数料を納入する。　手数料：1,000 円

教育職員免許状の申請方法が一括申請の場合、卒業式当日に教育職員免許状が授与されます。

★大学が行う手続き

時期（卒業後）	内　容　等
卒業した年の５月頃	学校図書館司書教諭講習参加手続きの要項が大学宛に届く。
卒業した年の６月頃	要項に従い、下記の（1）から（3）の書類を揃えて、大学が書類参加による学校図書館司書教諭講習参加手続きを行う。 （1）「学校図書館司書教諭講習申込書」（申請者が記入した上表※1） （2）「教育職員免許状授与証明書」 （申請者が記入した上表※2 を教育委員会に提出し、教育委員会より交付を受けた証明書） （3）「単位修得証明書」（大学で作成）
卒業した年の８月頃	学校図書館司書教諭講習会実施（書類参加）
卒業１年後の３月頃	文部科学省より本学に「修了証書」が届く。 ↓ 本学から申請者宛に郵送します。

3．科目等履修について

（1）科目等履修とは

科目等履修生制度とは、大学卒業後、希望する大学で特定の授業科目を履修することができる制度です。

卒業に必要な科目の単位をすべて修得した場合、教員免許状などの資格に必要な科目の一部が未修得であっても卒業することになります。（資格を取得せずに卒業します。）このような状況になった場合、この制度を利用して、社会人として働きながら、あるいは教員採用選考試験の勉強をしな

がら、免許状取得に必要な科目のみを履修し、合格すれば、その科目の単位を修得することができます。教育職員免許状については、免許状取得に必要な単位をすべて修得した後、居住地（住民登録地）の都道府県教育委員会に**個人申請**(35 ページ参照)をすれば、免許状が授与されます。

（2）科目等履修により履修できる科目

本学の卒業生で、在学時に教職関連科目を履修していた方は、本学が開講するすべての教職関連科目（「教育実習」も含みます）について、科目等履修が可能です。

ただし、「教育実習」や「教職実践演習」等、**先修条件**のある科目については、その条件を満たしている卒業生のみ、当該科目の科目等履修が可能となります。

先修条件を満たしていない場合は、科目等履修で先修条件となる科目を履修し、当該科目の単位が認定された翌年に、先修条件を満たしていないために履修できなかった科目の履修が可能となります。この場合、免許状取得までに、最短でも 2 年かかります。

（3）科目等履修の申し込み

出願期間は、毎年 3 月中旬です。

教職関連科目の履修については、事前に教務課で**履修科目の確認**を受ける必要があります。事前確認期間中に、必ず申し出てください。

本学卒業生の場合、申込金は 15,000 円、受講料は 1 単位につき 20,000 円です(2022 年度の金額)。

（4）科目等履修により「教育実習」を履修する場合の注意事項

①「教育実習」は、**先修条件**を満たした本学卒業生のみ履修できます。

②実習先からあらかじめ内諾を得ておく必要があるため、なるべく早い時期に、教務課まで相談に来てください。

③科目等履修で「教育実習」を履修する場合も、**前年度から実施される教育実習オリエンテーション(事前指導)**に出席しなければなりません。

④「教育実習」は実習時期にかかわらず通年科目です。（半期登録はできません。）

⑤科目等履修により「教育実習」を履修する場合、同じ年度に**「教職実践演習」**（4 回生後期科目）の履修も必要になります。従って、「教育実習」のみを科目等履修で履修することはできません。

Ⅴ．よくある質問

・履修に関する質問
・教育実習前に関する質問
・教育実習期間中に関する質問
・教育実習後に関する質問
・介護等体験に関する質問
・教育職員免許状に関する質問
・その他に関する質問
・教職支援センターに関する質問

【履修に関する質問】

Q：教職課程の関連科目を履修するには、手続きが必要ですか？

A：教員免許状取得のための教職課程履修にあたっては、4 月の**履修登録時**に、希望の免許種にチェックを入れてください。チェックを入れることにより、教職課程履修登録をしたことになります。また、2 月中旬に WEB 上で行う**「資格取得希望申請」の確認**でも、教職課程履修の意思を示してください。

Q：再履修などで教職関連科目が他の科目と重なった場合は、どうしたらいいですか？

A：時間割上で教職関連科目と専門科目が重複した場合、いずれを履修するかは各自で判断していただきますが、卒業に必要な科目の履修を優先することを原則としてください。ただし、最終学年で、卒業までに履修することがどうしても困難となった場合は、教務課に相談してください。

Q：卒業必修科目や専門科目だけで、１年間に登録できる単位数がいっぱいになります。
この場合、教職課程の科目を登録・履修することはできないのですか？

A：原則として、１年間に登録できる単位数を超えて授業科目を登録・履修することはできません。ただし、「諸課程履修科目」（中・高の「教育の基礎的理解に関する科目等」の多くがこれにあたります。）は卒業に必要な単位に含めることができないため、登録上限単位数には含まれません。詳しくは**『単位修得要領』**で確認してください。

Q：他学科で開講されている、教職関連科目は履修できないのですか？

A：所属している学科・専攻において開講されている科目を履修してください。
文部科学省の課程認定の規則上、他学科の開講科目を履修することが認められないためです。

Q：前期に開講されている、教職課程の必修科目を落としてしまいました。同じ科目名の授業が、
後期に他の学科で開講されるので、受講してもいいですか？

A：文部科学省の課程認定の規則上、他学科の開講科目を履修することが認められません。所属している学科で次年度に開講される科目を再度履修してください。

Q：３回生から教職関連科目の履修を始めることはできますか？

A：教職課程は原則として 1 回生から履修することとなりますので、3 回生から履修するとなると、教育実習の先修条件もあり、卒業と同時に教員免許状を取得することはかなり難しいと思われます。入学時から計画的な履修が必要です。

Q：卒業までに免許状に必要なすべての科目を修得できそうにありません。
卒業後に足りない科目を履修したり、教育実習に行ったりすれば免許状は取れますか？

A：卒業後に科目等履修生として免許状取得に必要となる科目を履修することは可能ですが、就職している場合などは、大学の授業を受けることが困難になる場合もあります。

【教育実習前に関する質問】

Q：実習先は出身校ですか？

A：実習先は出身校とは限りません。出身校も含めて、各自で実習を受け入れていただける実習校を探して個別に交渉してください。

Q：大学に近いので、京都市で実習したいのですが。

A：京都市立学校で実習できるのは、**京都市立学校卒業生に限られます**。京都市教育委員会の指導により京都市立学校以外の出身生が、大学に近くて便利だからという理由により、京都市立学校で実習をすることはできません。

Q：オリエンテーション(事前指導)を公欠に当たる理由で欠席した場合は、どうなりますか？

A：履修要項に定めるとおり、教育実習の説明会やオリエンテーション(事前指導)には、怠りなく出席しなければなりません。ただし、公欠もしくはこれに準ずる理由がある場合は、欠席を認め、後日再度オリエンテーション(事前指導)を行う場合がありますので、必ずオリエンテーション(事前指導)前に教務課に届け出てください。

Q：オリエンテーション(事前指導)を無断で欠席した場合は、どうなりますか？

A：無断で欠席した場合、実習に行くことはできません。履修要項に定めるとおり、教育実習の説明会やオリエンテーション(事前指導)には、怠りなく出席しなければなりません。社会のルールを守ることは、教職以外でも必要なことですが、教職という職業では、特に、生徒の範たることを求められます。教職を目指すなら、そのことを明確にわきまえてください。

【教育実習期間中に関する質問】

Q：実習期間と一般企業の採用面接日が重複してしまいました。どうしたらいいですか？

A：実習期間中の就職活動は、厳禁です。

Q：実習期間中に、台風により休校になりました。実習期間の取扱いはどうしたらいいですか？

A：期間の延長を、本人からお願いしてください。必要な実習日数を確保できるように、実習校と十分に調整してください。日程変更は、教務課及び各学科の教育実習担当教員にも報告してください。必要日数が確保できない場合は、教務課に相談してください。(☞　25 ページ)

Q：実習中、実地授業を行わなければならない時間数は、決まっていますか？

A：実地授業の時間数は決まっていません。大学から実習先へ依頼する際、2 週間実習で 5 時間程、3 週間実習で 8 時間程の実施をお願いしていますが、これは目安です。実地授業の時間数については、実習先の指導に従うようにしてください。

Q：体育祭や文化祭、クラブ活動の引率など、通常の授業日とは異なる行事日は、教育実習日として認められるのですか？

A：実習は通常の授業日が望ましいですが、体育祭や文化祭等の行事日も学校教育の一環であるため、実習日として認めています。実習先の指示に従ってください。

【教育実習後に関する質問】

Q：実習校での事後指導は、公欠にはならないのですか？

A：公欠にはなりません。事前指導は、教育実習までに行う必要があるため、日程が限られていますが、事後指導は、そうではありません。各自が授業に支障のない日程をお願いしてください。

**Q：実習終了後のお礼状は、実習先の誰に送ればよいのですか？
また、決まった様式や参考例はありませんか？**

A：お礼状は自分の感謝の気持ちを表すものですので、誰に送ればよいか、どのような内容のものを送るかは、各自で考えてください。実習先全体を代表して校長先生宛、特にお世話になった実習担当の先生には必ず送ってください。内容については、失礼がないように手紙の基本形式を押さえた上で、実習を行っての感想・学んだことなどを含めながら、感謝の気持ちを述べてください。

**Q：教育実習期間以外に、実習校にボランティアを頼まれました。
そのため授業を欠席することになりますが、公欠になりますか？**

A：公欠にはなりません。履修要項第１５条を参照してください。

Q：教育実習の成績はいつでるのですか？

A：履修要項に記載のとおり、「教育実習」は通年開講科目として設定されています。
６月に実習に行ったとしても、その成績は学年末に評価されることになります。

【介護等体験に関する質問】

Q：幼稚園または高等学校の免許状のみ取得する場合、介護等体験は必要ないのですか？

A：必要ありません。小学校教諭免許状または中学校教諭免許状を取得する場合に限って、必要となります。
（☞　31 ページ）

Q：介護等体験時の服装はどうしたらいいですか？

A：通勤はスーツで、体験用に着替え（動きやすいもの）を持って行ってください。
ただし、体験先から指示があった場合は、その指示に従ってください。

【教育職員免許状に関する質問】

Q：免許状の取得（予定）年月日は、いつになりますか？
免許状は、いつもらえるのですか？

A：本学が一括申請した免許状は卒業式当日に渡します。取得年月日は卒業式の日付になります。ただし、個人申請した免許状は、この限りではありません。また、栄養教諭免許状は除きます。栄養教諭免許状の詳細は**「教育職員免許状申請手続説明会」**で説明します。（☞　34～35 ページ）

Q：免許状は、大学が発行するのですか？
また、紛失した場合、再発行はできますか？

A：免許状は、各都道府県の教育委員会が発行するものです。再発行については、教育委員会に問い合わせてください。本学で一括申請した場合の授与権者は、京都府教育委員会となります。（☞　34 ページ）

Q：学校図書館司書教諭の資格取得は、いつになりますか？

A：資格の証明となる文部科学省が交付する「司書教諭講習修了証書」は卒業してから 1 年後の 3 月頃に届きます。修了証書が届いて、資格取得となります。大学で所定の科目を履修し、単位を修得しただけでは、資格取得となりません。なお、修了証書の日付は毎年異なります。（☞　36～37 ページ）

【その他に関する質問】

Q：教員になるつもりはありませんが、免許状は取得したいです。
教職課程を履修しても問題ありませんか？

A：教員を目指さないのであれば、教職課程の履修は取りやめ、専門科目等に集中するようにしてください。教育実習期間と一般企業の就職活動期間とが重なるため、就職活動にも非常に大きな支障が生じることになります。また、教員を目指さない学生が教育実習に行くことは、実習先に多大な迷惑をかけることになります。教育職員免許状は、教師になりたいという強い意志と熱意とをもった人が取得する資格だと理解してください。

Q：教職の仕事には興味が無く、一般企業への就職を考えていますが、
教員免許状があると就職に有利ですか？

A：一般企業に就職するのであれば、教育関連企業を除いて、教員免許状があっても有利にはなりません。教育実習期間と一般企業就職活動期間とが重なるため、一般企業への就職活動に非常に大きな支障が生じることになります。

【教職支援センターに関する質問】

Q：学生ボランティアに参加しようと思っています。どのようにすればいいですか？

A：学生ボランティアに参加する地域を決め、その地域にある教育委員会または学校のＨＰ、教職支援センターにある「募集票ファイル」や「活動報告書ファイル」を見て受け入れ先を探します。その後、教育委員

会または学校に学生ボランティアとして受け入れてもらえるか問い合わせをしてください。受け入れてもらえる場合は、先方を訪問して活動期間、活動曜日・時間、活動内容等の打ち合わせを行います。
なお、学生ボランティアに参加することが決まった場合は、必ず、教職支援センターで**登録**を行ってください。(☞　14 ページ)

Q：教員養成講座に参加しようと思っています。どのようにすればいいですか？

A：参加希望者は、教育委員会の募集要項に基づき必要書類を提出し、書類選考および面接を通過すれば講座を受講することができます。教育委員会によって講座内容が異なりますので、希望する教員養成講座の募集要項を早めに調べておきましょう。(☞　15 ページ)

Q：教員採用選考試験に向けた勉強方法を教えてください。

A：４回生の夏に受験する教員採用選考試験の内容は、教育委員会によって異なりますが、筆記試験、面接試験（模擬授業を含む）、論作文、実技試験を実施するところが多いです。**筆記試験**には、一般教養試験、教職教養試験、専門教養試験があります。各都道府県・政令指定都市別の教員採用選考試験問題集を使ったり、中学校、高校時代の問題集を使ったりして勉強する方法があります。また、学習指導要領や文部科学省からの通達、教育に関する法令等を読み込むことも勉強方法の一つです。**面接試験**（模擬授業を含む）や**論作文**は、繰り返し練習しておくことが必要です。また、**実技試験**は、実施される実技の内容を調べて、事前に十分練習しておいてください。教職支援センターでは、３・４回生を対象に筆記試験・面接試験・論作文の対策講座を実施しますので、積極的に参加して、合格を目指してください。

Q：教員採用選考試験で栄養教諭や養護教諭を希望する場合、特別にしておかなくてはならないことは何ですか。

A：基本的な勉強方法は、校種・職種を問わず同じです。栄養教諭や養護教諭の場合は、より深く専門性が問われますので、食に関する内容や給食管理、健康に関する内容や保健室管理などについて、回答できる力を身に付けておくことが必要です。そのために、それらをテーマにした指導場面を想定し、討議や教授経験を積んでおきましょう。

Q：公立幼稚園教諭を目指しています。採用試験はどのようになっていますか？

A：４回生の５月以降に受験する採用試験は、どの地域の公立幼稚園教諭を目指すかによって、受験方法が異なります。原則として、政令指定都市の公立幼稚園教諭を目指す場合は公立学校教員採用選考試験、政令指定都市以外の市や町村の公立幼稚園教諭を目指す場合は、その市町村が行う公務員試験を受けることになります。また、地域によっては、受験資格に小学校教諭または保育士の免許も必要とするところがあります。１・２回生の間に志望地域の募集要項を確認しておきましょう。
なお、公立・私立を問わず**ピアノの実技試験**がありますので、１回生から十分に練習しておきましょう。

Ⅵ．卒業後の登録について

１．京女教師の会

２．就職支援

1．京女教師の会

＜はじめに＞

本学卒業生で教員となられた方や卒業後も教員を目指しておられる方、及び本学学生の教員としての資質向上を図るとともに、本学の教職課程の充実並びに地域における学校現場の問題解決に寄与することを目的として、このたび教員 OG 連携組織「京女教師の会」を発足することとなりました。

本学が学校現場の諸課題に対応できる実践的指導力やコミュニケーション力を持った人材を育成する教員養成機関であり続けるためには、卒業生の皆様との連携・協力体制の構築が非常に重要ですので、教員 OG とのネットワーク作りにご協力をお願いいたします。

＜会員資格＞

（1）京都女子大学及び京都女子大学短期大学部の卒業生で以下の要件に該当し、本会の目的に賛同し入会を希望する者

①幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員となられた方（退職者を含む）

②卒業後も継続して教員を志しておられる方

（2）本会の目的に賛同し、入会を希望する京都女子学園の教職員

＜主な事業＞

（1）会員及び本学学生の教員としての資質向上を図るための研究会、講演会等

（2）本学学生の教員採用に関わる情報提供及び各種支援

（3）会員相互の連携・交流

（4）その他、目的達成のために必要な事項

※詳細につきましては、随時ホームページにて情報を更新していきます。

2．就職支援

卒業後の就職支援につきましては、個別対応いたしますので、教職支援センター(075-531-7275)までお問合せください。

Ⅶ. リフレクションシート

引用：武田信子「教員のためのリフレクションシート」
（教職課程履修学生用）

教員のためのリフレクション・シート（教職課程履修学生用）

このリフレクション・シートは、記入者が仲間や教員とともに、各項目に対して考察を深めるプロセスを経て、記入されることが大切です。
各項目が自分にとって意味するところを考え、具体的な自分の行動に結びつけて考えられるようになりましょう。

必要な資質能力の指標			自己評価				
大項目	小項目	文科省の分類	履修の検討スタート時点（1年）	履修登録決定時点（2年）	教育実習の準備開始時点（3年-4年）	教育実習終了時点（4年）	振り返って見えてきた自分の課題
	【文部科学省の定める分類】 ①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する事項 ③生徒理解や学級経営等に関する事項 ④教科等の指導力に関する事項	左記の①ー④	解説を聞いて自分なりに意味を考えた項目に〇をつける	〇（できている）△（課題である）×（意識していなかった）☆（意味がわからない）	現場で特に自分で気をつけようと思う項目に〇をつける	まだできていない今後の課題に〇をつける	
省察と成長の力 教員は、実践を理論と事実に基づいて体系的に省察し、自分の特徴や力量を分析し、教員としての専門性を高めて成長します。	1 教員の専門性とは何かについて常に探求している。	1					
	2 継続的な研修や授業などで、専門家としての成長を図っている。	1					
	3 教育実践に関連する最新事情について情報を得ている。	1					
	4 自分自身の能力、長所と短所についてよくわきまえて行動している。	1					
	5 他人からの評価やフィードバックを自己の成長に活用している。	1					
対人関係の力 教員は、生徒たちに開かれたコミュニケーションを促し、温かい交流のできる協力的な風土の学級・学校をつくります。	6 人との関わりを求め、相手に合わせた効果的なコミュニケーションをとっている。	2					
	7 人の話を無条件に肯定的関心を持って聞いている。	2					
	8 自分の感情や行動に自覚的である。	2					
	9 グループダイナミクス（グループの中で起きる相互作用）を理解した上で、行動している。	2					
	10 異なる文化や考え方を持つ人同士のコミュニケーションにしばしば起きるすれ違いや誤解などについて理解した上で、対応している。	2					
	11 人と協働（共通の目的に対して、協力し、共に活動すること）し、または人々が協働できるような雰囲気をつくり出している。	2					
教育者としての力 教員は、十分な教育学の知識や技術を持ち、生徒たちが自律的で責任の持てる人間に成長できるように、安全な学習環境をつくります。	12 自分のアイデンティティや価値観が、人に対するふるまいかたに影響していると自覚して行動している。	2					
	13 教師としての自分の行動が生徒にどう影響しているかを認識している。	2					
	14 生徒たちが将来の仕事や人生の中で関わっていかなくてはならない社会規範を知っている。	3					
	15 教育の基盤として、人権について学び、人権を尊重する風土を作っている	3					
	16 生徒のアイデンティティや価値観の発達について理解している。	3					
	17 生徒の身体的・心理的・知的・社会的発達について知っている。またその過程で同時に起こりうる変化や課題について知っている。	3					
	18 発達や学びがそれぞれの生育環境や文化などの要因に影響されていることを知っている。	3					
	19 教育学の主な理論に関する知識を持ち、必要な時に参照している。	3					
	20 生徒に起こりうる問題について指摘したり対応したりする方法を知っている。また、個人や場合に即した対応をしている。	3					
	21 生徒が自由に発言できる安全な場をつくっている。	3					
	22 生徒が自律性を身につけていく環境をつくっている。	3					

学習指導の力	**23 知識や文化の継承、批評、解釈のプロフェッショナルとして、生徒を教えている。**	4					
	24 自分が教える教科やプログラムに関する十分な知識を持ち、生徒に対し、適切な方法で課題を提示している。また、課題を確実にこなすことができる。	4					
教員は、教科の内容に関する十分な知識と教育方法に関する多彩な技術を持ち、生徒たちが学ぶための効果的な学習環境をつくります。	**25 表現や記述のもととなる背景や考え方について深く読みとり、熟慮している。**	4					
	26 科学的な思考法を持ち、さまざまな社会的問題・事象について生徒にも深い思考を促している。また、自らもその社会の一員として解決に積極的にかかわっている。	4					
	27 生徒たちが過去に何をどのような方法で学習してきたかを自分の教育内容と方法につなげている。	4					
	28 生徒たちの言語能力が学習に与える影響を考慮した上で実践を行っている。	4					
	29 教育方法に関して十分な知識や技術を持って、状況に合わせて実践している。	4					
	30 担当の学級全体のために、またそこにいる生徒一人一人のために、学べる環境をつくっている。	3					
	31 さまざまな学習理論を知っており、生徒の特徴に合わせて実践に活用している。	4					
	32 教科内容の学習における生徒の進捗度及び関連する能力の習得度を具体的に評価している。	4					
	33 カリキュラムとその編成に関して十分な知識や技術を持っている。	4					
	34 生徒たちの学習の仕方、学習に対するニーズを知っていて、それに対応している。	4					
	35 生徒の将来の職業や日々の生活において、学習内容がいかに大切であるか実感させている。	4					

教員のためのリフレクション・シート（教職課程履修学生用）

このリフレクション・シートは、記入者が仲間や教員とともに、各項目に対して考察を深めるプロセスを経て、記入されることが大切です。
各項目が自分にとって意味するところを考え、具体的な自分の行動に結びつけて考えられるようになりましょう。

必要な資質能力の指標			自己評価				
大項目	小項目	文科省の分類	履修の検討スタート時点（1年）	履修登録決定時点（2年）	教育実習の準備開始時点（3年-4年）	教育実習終了時点（4年）	見えてきた自分の課題 振り返って見えてきた自分の課題
	【文部科学省の定める分類】 ①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する事項 ③生徒理解や学級経営等に関する事項 ④教科等の指導力に関する事項	左記の①ー④	解説を聞いて自分なりに意味を考えた項目に○をつける	○（できている）△（課題である）×（意識していなかった）★（意味がわからない）	現場で特に自分で気をつけようと思う項目に○をつける	まだできていない今後の課題に○をつける	
組織力 教員は、教育活動を効果的・円滑にする学級運営の力を持ち、生徒たちとともに学び合いのコミュニティをつくります。	36 まとまりと秩序のある心地よい生活の風土をつくっている。	3					
	37 課題に取り組むことのできる学びの風土を作っている。	3					
	38 生徒たち一人ひとりが自分なりに学級活動に参画できるように、それぞれに居場所と出番を与え、全体に心配りしている。	3					
	39 生徒たちが互いの知識を分かち合い学習し合うよう働き掛けている。	3					
	40 生徒たちの力を信じ、学級運営や特別活動に活かしている。	3					
	41 生徒たちにとって自律的に学べる学習環境を用意している。	3					
同僚と協働する力 教員は、学校の教育目標の実現に向けて、学校を構成する全ての教職員と協働して仕事をし、コミュニティとしての学校がうまく機能するために貢献します。	42 会議や研修に出席し、関係者の考えを把握し、自分の考えを表明している。	2					
	43 教育活動の準備、実践、評価のそれぞれにおいて、同僚（管理職を含む。養成の場合は、共に学ぶ仲間たち、以下同じ）と協力し合っている。	2					
	44 必要に応じて、同僚たちに声をかけ、協力を求めている。	2					
	45 同僚と協働する場で、自分の仕事のやり方や役割を伝え、連携の合意を得ている。	2					
	46 同僚と互いに建設的な助言をしあっている。	2					
	47 同僚と自分の個性の差異を把握し、理解した上で、同じ目的に向かって協働している。	2					
	48 生徒の学習状況を把握しており、同僚が利用しやすいように引き継いでいる。	2					
	49 学校全体の発展を常に意識しながら、自らの教育実践を行っている。	2					
	50 学校運営や組織化についての知識を持っており、それを活用している。	2					
学校を取り巻く人々と協働する力 教員は、学校の教育目標の実現に向けて、保護者やPTA、ボランティア、コミュニティの中のパートナー、実習先や進学先など学校を取り巻く多様な人たちと円滑に協働します。	51 保護者の社会環境や生徒への期待についてよく知っている。	2					
	52 場に合わせた言葉、マナーやコミュニケーションの方法を使っている。	2					
	53 学外関係者に、教育方法や内容についての教員としての専門的見解をわかりやすく伝え、合意が得られた形で生徒に関わっている。	2					
	54 組織としての学校が、他の組織と協働する際の手続きや規定に慣れている。	2					
	55 生徒の実習先、進学・就職先とよい関係をつくり、連携を維持している。	2					
	56 生徒たちの校内での学びと校外での学びが有機的に連動しあうように、コミュニティ開発を行っている。	2					

履修登録面接時の教員からのコメントを参考に自分の今後の課題をまとめておきましょう	

教育実習時の指導教諭等からのコメントを参考に自分の今後の課題をまとめておきましょう	

〈執筆者〉
坂井武司（教職支援センター長　発達教育学部　教授）
椋本久雄（教職支援センター副センター長　特定教授）
天野聖子（教職支援センター　特定教授）
落合幸子（教職支援センター　特定教授）

教職課程ハンドブック2023

2023年3月10日発行

発行　京都女子大学
京都市東山区今熊野北日吉町35

監修　京都女子大学教職支援センター運営委員会

問合せ先　教務課（Tel：075-531-7048）
教職支援センター（Tel：075-531-7275）

学生証番号

氏名

教職課程 ハンドブック 2023　保存版